



訪問看護版インターンシップニュースレター Vol.2



2021.9 発行

昨年1月、日本で初めて新型コロナウイルス陽性者が出て以来、収束の兆しが見えないどころか感染者数は増加し続け、看護学生の皆さんも臨地実習ができない状態が2年にも及ぶ事態となりました。広島県看護協会では夏休み訪問看護版インターンシップの実施に向けて準備してきましたが、第5波の煽りをもろに受け、初日に中止せざる得なくなりました。楽しみにしていた学生さんは残念でしたが、「春休みにまた応募します！ 私、訪問看護師になりたいんです！！」という学生さんの言葉は心強く、嬉しくなりました。そこで、Vol.2では、訪問看護の魅力をお届けします。

広島県看護協会訪問看護ステーションで働く看護師6人に聞きました



Aさん
看護師歴18年
訪問看護師歴9年



Bさん
看護師歴7年
訪問看護師歴2年



Cさん
看護師歴11年
訪問看護師歴10年



Dさん
看護師歴26年
訪問看護師歴13年



Eさん
看護師歴27年
訪問看護師歴22年



Fさん
看護師歴3年
訪問看護師歴3年



Q:つらかったこと、悲しかったことはありますか

Dさん：病院とは違い、休日・夜間でも何かあれば緊急対応しなければいけないため、日々緊張感があることがしんどいときがあります。

Cさん：ひとりでの訪問が主になるので点滴が入らない時が辛いです。

Eさん：他事業所との連携がうまく取れない時や体調が悪化され入院された時は、病状に関する予後予測や発見が遅れてしまったのでは感じ辛くなります。



Q:心に残るエピソードを聞かせてください

Eさん：3歳の時から訪問看護で介入した利用者が22歳に成長し現在も在宅で生活しております。一緒に成長してきたと感じができる訪問の一つです。

Aさん：寝たきりのお母さんを介護している娘さんから「訪問看護師さんのお蔭で生活ができます。寝たきりの母だけでも長く一緒にいたいと思っています。今後ともよろしくお願ひいたします」とのお手紙をいただきました。ありがとうございます。

Cさん：「どうしても入院したくない」という利用者さんに骨が触れるほどの大きな深い褥瘡ができてしまいました。医師、ヘルパー、訪問看護師、家族が一致団結して体位変換や除圧、ポジショニング、栄養指導などを週末の休みもなく毎日訪問して処置をし、数か月後に完全に治癒した時はとても嬉しかったです。

Q:訪問看護になろうと思ったきっかけは何ですか

Aさん：総合病院で9年勤務し出産で退職、8年のブランクを経て訪問看護師になりました。色々な患者さんに関わらせていただきましたが、一方で専門性に欠けるとも思っていました。再就職を検討しているときに、ナースセンターの方に「幅広い知識と経験が訪問看護で活かせる」との助言をもらったことがきっかけです。

Fさん：学校の在宅看護実習で、病棟看護とは違った患者さんの生活全体をみて看護をする訪問看護が楽しそうに思ったからです。

Cさん：訪問看護をする前は病院で働いていたのですが、もっと一人ひとりの患者さんとゆっくり会わりたいと思い、訪問看護師を選びました。

Q:訪問看護のやりがい・魅力・嬉しかったことを教えてください

Bさん：0歳から100歳までの人とかわわることができることが魅力だと思います。十人十色の人生を知ることができ、日々学びになっています。自分の考えの中になかった新しい世界が見え、看護だけでなく学びの多い日々だと感じています。

Cさん：個々の利用者さんに対して責任をもって働くことができます。その分、利用者さんや家族からの感謝の言葉は身に沁みます。利用者さんの状態が良くなった時に本人家族と一緒に喜びを分かち合えます。その時はやりがいを感じます。

Aさん：「看護師さん」ではなく「〇〇さん」と呼ばれる距離の近さです。この人に相談しよう、来てもらいたいと信頼していただけるとやりがいを感じます。在宅では、個々の知識や技量が利用者さんとご家族に影響するシビアな環境です。そのため自己研鑽は欠かせませんが、その努力で療養生活が向上すると嬉しいです。

訪問看護ステーションの看護管理者に聞きました！



訪問看護ステーションではどんな人材を求めていますか

- 人が好きで一緒に課題について考えられる人
- 自分の足りない知識や技術について学び続けることができる人
- 責任感があり、主体的に行動できる人
- 体力と精神力に自信のある人
- チームで協働して考え行動できる人（コミュニケーション能力の高い人）



訪問看護師の育成はどのようにされていますか

- ひとりで抱え込まないサポート体制を心がけています。
- 経験豊かな看護師に同行訪問し、より個別的で細やかな指導を受けながら業務の習得をめざします。
- 新卒等訪問看護師育成プログラムに沿って指導、評価を行い、到達度を把握しています。
- 個別研修計画を作成し、計画的に研修をすすめます。

訪問看護を目指す方へメッセージ

- 訪問看護は看護や人生など自分の経験が生かせる仕事です。利用者さんと共に感し合いながら療養生活を支えるやりがいのある仕事です。一緒に訪問看護をしませんか。
- 訪問看護はひとりで頑張るのではありません。多職種が専門性を生かして話し合いケアを創っていきます。訪問看護ステーションの中でも報告、相談ができ、事例検討をしながら振り返りも行います。その人にあった看護を工夫してできることに看護のやりがいを感じます。一緒に頑張りましょう。
- 看護の専門性が問われますし、多職種との協働が欠かせない仕事ですが、解決策と一緒に考えててくれる仲間がいますので、不安なことは相談しながら気負わずに訪問看護を目指してみてください。
- 訪問看護は利用者と深い関わりができ、質の高い看護ができるやりがいのある仕事です。自宅に訪問し、看護介入することで利用者の生活全体の改善がみられ、利用者に笑顔がみられる体験をすることがあります。そこが訪問看護の嬉しい瞬間です。経験がなくても同行訪問しながら学んでいけます。仲間が増えなければ私たちも嬉しいです。
- 訪問看護を通じて笑顔を増やし、地域の方々に頼りにされるやりがいのある仕事を一緒にしませんか。

